

第29回例会

通算第 1264 回例会 2026年3月18日(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテルアネックス

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和:橋本弘幸さん
- ▶ ゲスト:神山英司様(郡山 RC 創立 90 周年実行委員長)
高橋裕一様(郡山 RC 会長エレクト)
伊野泰司様(郡山 RC 副幹事)
チンタカ・クマール様(福島グローバル RC)

▶ 宮崎登志行 会長 挨拶

先週、六本木 RC さんと岸和田東 RC さんに幹事と二人でお邪魔しまして、30 周年記念式典・懇親会の PR をしてまいりました。岸和田東 RC さんは 6 月 6 日に 50 周年記念式典・懇親会を行うということです。今日の例会前の実行委員会で 4 月 11 日に向けて具体的に着実に進んでおりますので、会員の皆さんの来月に向けてのさらなるご協力をお願いします。

▶ 郡山 RC 創立 90 周年のご案内:神山英司様

郡山 RC は昭和 11 年 5 月に創立して 90 年を迎えます。昭和 11 年は 2・26 事件があった年です。当時の郡山の人口は 5 万人でしたが、仙台より先に郡山にロータリーを立ち上げたいということで、東京に帰ろうとした米山梅吉さんに郡山駅で途中下車していただくというその思いが叶いまして創立に向かうわけでございます。10 万人を超えていた仙台よりも先に、果たして 5 万の人口でロータリーが成立するのかという疑問を東京 RC から持たれましたけれども、強い思いがありました。東京 RC の認証番号は 855、郡山 RC は 3992 です。台湾、韓国も含めて日本で 31 番目のクラブになりました。先輩方からの「おごるな、寛容であれ、派閥をつくるな」との口伝を 90 年間ずっと守ってまいりました。そして 100 周年という大きな区切りを迎える前の 90 年となりますので、きちんとしたおもてなしをしていきたいと思っております。5 月 23 日の式典、講演に関しましては高橋裕一さんと伊野泰司さんからお話していただきたいと思っております。



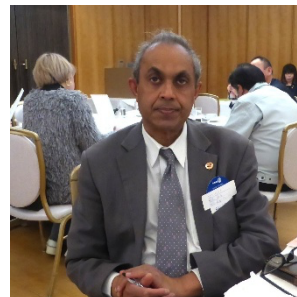
▶ 郡山 RC 創立 90 周年のご案内:伊野泰司様

郡山アーバンコスモス RC30 周年を迎えるということで誠におめでとうございます。郡山 RC 創立 90 周年記念式典は 5 月 23 日(土)の午後 3 時からとなっております。午後 2 時から受付をしております。記念講演は午後 4 時 40 分より、祝賀会は午後 6 時より、会場は郡山ビューホテルアネックスの花勝美です。会費は 2 万円です。ぜひ多くの皆様にご参加いただけますよう心よりお待ち申し上げます。

▶ 郡山 RC 創立 90 周年のご案内:高橋裕一様

郡山 RC 創立 90 周年の記念講演の講師はカレー専門店「カレーハウス CoCo 壱番屋」の創業者の宗次徳二さんです。1948 年に石川で生まれて、すぐ孤児院に預けられたために全く両親の顔は知らないそうですが、30 歳のときに清州市でカレー専門店を始めました。「このカレーが一番だよ」ということで名前になったそうです。創業以来 20 年、第一線で働く徹底した現場主義です。それが全国展開につながり、最終的には 1000 億以上の売り上げになっていくわけです。もっと大きくするためにハウスカレー食品グループに株を全部売却し、息子さんたちには継がせませんでした。会社は公のものだという考えです。奥様と本人の株全部を売却して 220 億を手に入れました。その通知を見た奥様が言ったことは、「これは我々のお金じゃないよね。皆さんにお返ししましょう」でした。そこから慈善事業がスタートします。宗次ホールを堺のど真ん中に個人で建てました。寄付活動をいろいろやっております。1 つのバイオリンが何億もするストラリーバリウスを 9 台も持っています。もちろん若い優秀な方にどんどん貸し出しをしております。職業奉仕も個人の奉仕活動もしっかりされている方で、90 周年の講演にふさわしいと思っておりました。会費 2 万円の価値は十分あると思います。ぜひ皆さんに来ていただければと思います。

▶ スリランカ米山学友会のご案内:チンタカ・クマール様



郡山アーバンコスモス RC には米山のお母様の片桐栄子さん、小林悦子さんがおられて、私は大変緊張しております。スリランカの学友会は世界で 7 番目にできた学友会で、10 年前に設立したときには片桐さんも藤田弘美さんも一緒に行っていました。

あれから 10 周年を迎えまして 5 月 31 日にスリランカで式典を行う予定でございます。多くの皆さんに出席していただきたく思っており、記念式典ツアーの段取りをいたしました。旅行代金はすべて含めて 38 万 4,120 円です。ぜひともいろいろな活動に取り組んでいる様子を見に行ってくださいと思います。

プログラム:30周年記念式典 各セッション事前確認**▶ 土屋繁之 創立30周年事業 実行委員会委員長**

今日は5月23日の郡山RC創立90周年のご案内のために郡山RCの皆さんがおいでくださいました。1ヶ月後の4月11日に開催する郡山アーバンコスモスRC30周年の準備のために、例会前に1時間半ほど実行委員会で話し合いをしましたが、まだおおまかな内容です。2ヶ月前から各クラブを訪問されている郡山RCを見ると恥ずかしい思いです。ただ今回は中央分区の会長幹事だけにお声掛けにご案内をしており、各クラブにはご挨拶に伺ってはおりませんのでご容赦いただきたいと思います。

振り返れば、郡山アーバンRCができたのは初瀬行雄ガバナーの時ですから郡山RCは60周年で、周年事業の中でガバナーを輩出され、郡山アーバンRCを作られたらと思うと、本当にすごい時代だったと思います。特別代表が私の父であったことにもご縁を感じます。それから昨日はチンタカさんと2時間ほど激論を交わしました。国際的な動きに本当に真剣に取り組まれ、いつも熱く語られるチンタカさんは素晴らしいと思います。

去年、郡山アーバンRCと郡山コスモスRCが合併して2530地区で最初のクラブ合併となりました。30周年を迎えるに当たり、両方のクラブに籍を置いた私が実行委員長となりました。合併はこれからの活動に向けても良いタイミングだったと思っています。そのことを30周年記念式典の中で地区・分区の皆さんに知っていただくために、何とか良いものに作り上げたいと思っています。

今日は式典担当の味戸さんと記念事業担当の蔭山さんに現時点での状況をご報告いただきます。式典開催のために会員が一丸となることが一番の意義だと思いますので、皆さんに準備状況を知っていただけてご支援をいただければと思います。

あと1ヶ月を切りましたので、足りないところやお気づきのところがあればアドバイスもいただければと思います。

▶ 味戸誠一郎 創立30周年事業 実行副委員長 式典担当

開催まであと1ヶ月弱となりました。登録を3月10日に締め切りまして参加人数がまとまりました。副委員長として登録は本郷さん、式典は平栗さん、来賓接待は鈴木さん、懇親会は松川さんをお願いします。式典と懇親会の案として会長・幹事に提出しましたが、例会前の実行委員会で変更部分が出てきましたので、それぞれの委員会で早々に打合せをしていただくようお願いいたしました。組織表は皆さんにお渡しした通りです。



出欠の返事が来ていない方が数名いらっしゃいますが、会員43名のうちなんと34名の出席をいただいております。

台湾新竹RCから20名参加とのことですので、皆さんで大歓迎をしたいと思っております。

式典は一般的な流れと同様です。組織表に各リーダーのもとにそれぞれ役割を割り振りました。当日まで3週間ほどありますのでそれぞれの委員会で打ち合わせをしていただきたいと思います。会費は2万円です。物価高騰の折、皆さんの負担が大変だと思いますけれども、会費に見合うような式典・懇親会を進めたいと思っております。

クラブが合併して1年半経ちますけれども、一体となる初めてのイベントでございますので、声を掛け合いながら進めていきたいと思っております。皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

▶ 蔭山寿一 創立30周年事業 実行副委員長 記念事業担当

式典当日に発表する内容をお伝えします。郡山アーバンコスモスRC 中学野球大会創立30周年記念大会、骨髄バンク支援プロジェクト、福島県立聴覚支援学校支援プロジェクトの各事業をご説明いたします。

第26回郡山アーバンコスモスRC 中学野球大会創立30周年記念大会は令和7年5月11日(日)から7月6日(日)に行いました。大会は毎年開催しておりますが、今回は創立30周年を記念し、決勝戦・閉会式を子供達憧れのヨーク開成山スタジアムにて開催しました。贈呈品として大会横断幕を寄贈しました。

骨髄バンク支援プロジェクトは令和7年9月3日(水)の例会に福島県骨髄バンク連絡協議会の関根政雄会長と郡山支部代表の坂本豊和様にご臨席いただき、毎年支援してきた福島県骨髄バンク推進連絡協議会に支援金10万円を贈呈しました。4月14日(日)に郡山アーバンコスモスRC30周年記念ゴルフコンペを開催し、参加の皆様からアトラクションに応じてご寄付いただき、後日、骨髄バンクに寄付させていただきます。郡山RCさんからも4名のご参加、誠にありがとうございます。

福島県立聴覚支援学校支援プロジェクトは令和8年3月27日(金)に行います。福島県立聴覚支援学校は聴覚障害のある子どもたちが聞く力や言葉の力を育てることで、コミュニケーション能力や社会生活が円滑に送れるように生徒を育てる県内唯一の学校です。幼稚部の3歳児から小学部、中学部、高等部の18歳までの子どもたちが学んでいます。毎年支援してまいりました福島県立聴覚支援学校に例年と同じ補聴援助システムを寄贈するとともに、今年度は創立30周年を記念して、劣化した綱引き用ロープを新しい綱引き用ロープと巻き取り機を3月27日に聴覚支援学校にて贈呈する予定で、記念誌には過去形で記載されます。午後3時半から聴覚支援学校にて贈呈式を行いたいと思っております。

